

令和2年6月11日

## 兵庫県立明石北高等学校 創立 50 周年に向けて

校 長 安岡 久志

PTA 会長 松岡 正文

朔風会会長 橋本 憲一郎

私たちが生きる 21 世紀の日本の社会は、急激な少子高齢化が進み、情報通信技術の進歩はグローバル化にさらなる拍車をかけ、AI の進歩は未来の労働環境に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

このような時代にあって、生徒には、将来、社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓いていくことができる資質・能力が必要となります。

そのため、以下の「教育の三要素」を重視するとともに、その実現のため、学習内容（「何を学ぶか」）や、学習方法（「どのように学ぶか」）等を検討する必要があります。

- ・生きて働く「知識・技能」の習得
- ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

特に「どのように学ぶか」については、文部科学省では、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の実現が肝要であると述べています。

これを実現するためには、生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実が必要です。

このためには教師自身の探究活動を重視した授業改善はもちろんのこと、ICT を活用できる学習環境の整備も不可欠です。

兵庫県教育委員会は、本年度から県立学校「学びのイノベーション推進事業」による ICT 整備を行います。本校では、それを補完し、さらに充実した ICT 環境を構築するため、特別教室等へのプロジェクターの追加設置や全館 Wi-Fi 化を進めるとともに、探究活動を充実させるため、県下の県立高校に先駆けて「探究学習ルーム（仮称アカデミックルーム）」の整備等を計画しています。

この計画の実施は、本校が令和3年度に迎える「創立 50 周年」記念事業の一環であり、本校 PTA、同窓会が中心となって行うこととなります。

是非とも、この趣旨をご理解いただき、ご賛同をいただくとともに、生徒の「確かな学力」の育成と魅力ある学校づくり、本校の将来の発展のため、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。